



AUSTRALIA – JAPAN  
50 years of Friendship and Cooperation  
日本オーストラリア友好協力50周年



# 日豪友好協力基本条約署名50周年 および 豪日交流基金設立50周年記念展

Exhibition celebrating the 50th Anniversary of  
the Signing of the Basic Treaty of Friendship and Cooperation;  
and the 50th Anniversary of the Establishment of  
the Australia-Japan Foundation

## 共催特別展示



オーストラリア大使館  
日本

Australian Embassy Japan



外務省外交史料館

Diplomatic Archives

Ministry of Foreign Affairs of Japan

2026.

6.17 **水** – 8.1 **土**

17 June – 1 August 2026

## 外務省外交史料館 展示室

Diplomatic Archives Exhibition Room  
Ministry of Foreign Affairs of Japan

東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー 5階  
Azabudai Hills Mori JP Tower 5F, 1-3-1 Azabudai,  
Minato-ku, Tokyo

▼詳細はこちら



▼Information



入場無料 | Admission Free

【開室時間】 10:00–17:30

※日曜・祝日休室

Closed Sundays & national holidays

【協力】 オーストラリア国立公文書館

National Archives of Australia (NAA)



## 日豪友好協力基本条約 50年の歩み

1976年6月16日、オーストラリアのマルコム・フレーザー首相と、日本の三木武夫総理大臣により東京で署名された「日豪友好協力基本条約」は、両国関係における歴史的転換点となりました。

ゴフ・ホイットラム首相の下で始まった取り組みを基礎に、本条約は友好関係、共通の国益、相互依存を日豪関係の基本原則として正式に位置づけました。

政治、経済、科学、社会、文化といった幅広い分野での協力枠組みを定めた本条約は、最恵国待遇を貿易のみにとどめず、投資や出入国にも拡大し、日本の高度経済成長期における両国関係の深化に大きく寄与しました。

1977年の発効以降、本条約は人と人との交流、定期的なハイレベル対話、安全保障や地域協力の拡充を支え、日豪関係の礎として機能し続けています。

2026年、50周年を迎えた両国は、「特別な戦略的パートナーシップ」へと発展したその歩みを振り返るとともに、地域の平和、安定、繁栄に向けた次の50年の協力を展望します。



Image courtesy of National Archives of Australia. NAA: A13302. 1.

### 姉妹都市 — オーストラリアと日本をつなぐ「人と人」の絆

人と人との交流は日豪関係を支える基盤です。姉妹都市を通じた双方向交流により、両国の関係はさらに豊かなものとなっています。



写真提供: 奈良市

### 科学外交: クエスタコンと日豪関係

豪州国立科学技術センター「クエスタコン」の設立に日本が大きく貢献。それ以降、日豪科学協力のシンボルであり続けています。



### 共にゴールへ: 日豪AFL交流

オーストラリアで大人気のオーストラリアン・ルールズ・フットボール(AFL)。日本国内リーグでも6つのチームと、女子日本代表チーム「ミライズ」が日豪のスポーツ交流に貢献しています。



写真提供: AFL JAPAN

## 日本で愛されるオーストラリアの 可愛い大使たち

コアラやカンガルー、クオッカなどは、友好の証としてオーストラリアから日本に贈られてきました。愛らしい彼らの姿を一目見ようと、日本各地の動物園に足を運ぶ人は後を絶ちません。



写真提供: 埼玉県立こども動物自然公園

## 震災からの繋がり:オーストラリアから 東北への継続的支援

自然災害の多い日本とオーストラリアは、困難な時に支え合います。東日本大震災以降、オーストラリアは南三陸町をはじめ被災地で、人的・文化的交流を通じた復興支援を重ね、新たな友情を育んできました。



Photo by Ai Ueda

## 先住民族交流:知識と革新性の共有

オーストラリア先住民族は、日本の先住民族を含む国際コミュニティと交流し、その知識や革新性を世界と共有しています。



## 日本の食文化におけるオーストラリアの役割

讃岐うどんの特徴はもちもち食感と強いコシ。それを実現する原材料として豪州産小麦が重要な役割を果たしてきました。



写真提供: 香川県観光協会

## オーストラリア・ハウス:大地の芸術祭の 里の懐に抱かれた日豪交流の拠点

新潟県十日町市にある日豪の芸術交流の拠点、オーストラリア・ハウス。日豪のアーティストが行うレジデンシーやコミュニティーの交流の場として、オーストラリア・ハウスは人々の対話の場を構築・提供しています。



Photo by Nakamura Osamu

## 豪日交流基金設立50周年

日豪友好協力条約と同年に、オーストラリア政府の下で設立された豪日交流基金(Australia-Japan Foundation)は、人と人との交流を通じて、日豪の相互理解を促進することを目的としています。

本展では、同基金が半世紀にわたり、草の根から専門家交流に至るまで支援してきた事業にも焦点を当てます。



### 海からの繋がり:日豪ライフセービングの物語

豪日交流基金は、1980年初頭に海における水辺の安全を見守るサーフライフセービングをオーストラリアから日本に紹介しました。ビーチのパトロールのシステム構築から始まった両国間の関係は、若手リーダーの育成や相互で学び合うなど、現在でも幅広い協力が行われています。



写真提供: Ron Rankin



写真提供: 日本ライフセービング協会

### 食と未来を共に:日豪協力の40年

「ミールズ・オン・ホイールズ」は豪州で広く知られる高齢者向け配食サービス。日豪の団体は40年にわたり、市民交流を通じて食料不安への対応や高齢者の孤独・孤立の軽減に取り組んできました。



写真提供: 全国食支援活動協力会

### 学びの国際交流: 日豪教育パートナーシップ

日豪の教育での交流は姉妹校提携や短期留学に加え、高等教育や研究・開発協力まで幅広く行われています。特に若者同士の交流は、将来両国間の関係を発展させる次世代のリーダー育成につながると期待されています。



### 補助犬を通じた社会福祉への支援

社会福祉を支える重要な存在である介助犬や盲導犬。日豪の組織は数十年にわたり、犬の繁殖や訓練、社会への啓発活動についてお互いの知見を分かち合うなど、実践的な協力関係を育んでいます。

